

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月13日
【四半期会計期間】	第90期第3四半期（自平成25年10月1日至平成25年12月31日）
【会社名】	マーチャント・バンカーズ株式会社
【英訳名】	MBK Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長兼CEO 古川 令治
【本店の所在の場所】	東京都千代田区内幸町一丁目1番1号
【電話番号】	(03)3502-4910（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役CFO兼財務経理部長 宮毛 忠相
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区内幸町一丁目1番1号
【電話番号】	(03)3502-4910（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役CFO兼財務経理部長 宮毛 忠相
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第89期 第3四半期連結 累計期間	第90期 第3四半期連結 累計期間	第89期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	自平成25年4月1日 至平成25年12月31日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	2,781,997	2,356,125	3,762,596
経常利益又は経常損失() (千円)	32,868	42,469	80,262
四半期(当期)純利益(千円)	36,624	44,891	16,221
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	61,536	81,371	70,025
純資産額(千円)	2,893,077	2,933,693	2,899,350
総資産額(千円)	4,929,773	5,561,513	6,102,005
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	1.65	2.02	0.73
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	58.2	52.3	47.1

回次	第89期 第3四半期連結 会計期間	第90期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	3.73	2.91

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有する潜在株式がないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループが判断したものであります。。

(1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間（以下「当第3四半期」）の我が国経済は、円安や金融市況の回復を背景として、緩やかな回復基調にありました。先行きについても、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されております。

当社の主要な事業領域についてみると、国内外の金融・不動産市場及び国内のホテル・レジャー市場は、デフレから脱却し堅調に推移しております。

このような経済状況のもと、当第3四半期の当社グループは、営業投資資産の売却活動、ホテル等の事業所の採算向上、並びに食品製造機械の生産・受注活動などに注力してまいりました。

当第3四半期の当社グループの収入は、前連結会計年度における店舗撤退の影響から減収となり、売上高2,356百万円（前年同期比15.3%減）となりました。

一方、利益水準については、太陽光発電設備の売却益、不採算店舗撤退の効果、並びに円安による為替差益の発生等により、営業利益19百万円（前年同期は営業損失25百万円）、経常利益42百万円（前年同期は経常損失32百万円）、四半期純利益44百万円（前年同期比22.6%増）となり、黒字を確保いたしました。

また、当社は、第1四半期より株式会社アドメックを新たに持分法適用関連会社とし、第2四半期より合同会社マーチャント・ソーラー2号を連結の範囲としております。

報告セグメントごとの業績は、次の通りであります。

（マーチャント・バンキング事業）

当社グループは、当事業部門におきまして、主に日本及び中国の企業及び不動産向けの投資事業並びに太陽光発電関連事業を営んでおります。

当第3四半期期間においては、群馬県利根郡みなかみ町に建設中の太陽光発電所及び稼働中のテストプラントを売却し、211百万円の収入、33百万円の売却益を計上いたしました。このほか、経常的な不動産賃貸収入や所有不動産の売却などから、売上高636百万円（前年同期比14.0%増）、セグメント利益99百万円（前年同期比19.8%増）となりました。

（オペレーション事業）

当社グループは、当社及び連結子会社である株式会社ホテルシステム二十一において、宿泊施設の運営、ボウリング場の運営、給食業務の受託などを行っております。

当第3四半期は、前期に行った店舗撤退の影響により売上高1,446百万円（前年同期比28.7%減）と減収になり、セグメント利益19百万円（前年同期比64.3%減）となりました。

なお、当第3四半期末日後の平成26年1月11日付で、インターネットカフェ店舗「スペースクリエイイト自遊空間大塚店」（東京都）を事業譲り受けにより取得し、新たに営業を開始しております。

（マニュファクチャリング事業）

当社グループは、連結子会社である旭工業株式会社において、食品製造機械の製造、販売を行っております。

当第3四半期は、11月に受注額154百万円の大口受注の検収が完了したことにより、売上高272百万円（前年同期比40.7%増）、セグメント利益12百万円（前年同期はセグメント損失33百万円）となりました。

(2)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3)研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	90,000,000
計	90,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月13日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協 会名	内容
普通株式	22,615,056	22,615,056	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	22,615,056	22,615,056	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	-	22,615,056	-	2,765,732	-	20,849

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 413,100	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 22,176,300	221,763	-
単元未満株式	普通株式 25,656	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	22,615,056	-	-
総株主の議決権	-	221,763	-

- (注) 1. 「完全議決権株式（自己株式等）」欄は、全て当社保有の自己株式であります。
 2. 「完全議決権株式（その他）」欄普通株式には、証券保管振替機構名義の株式500株（議決権5個）が含まれております。
 3. 「単元未満株式」欄には、当社所有の自己株式1株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数（株）	他人名義所有 株式数（株）	所有株式数の 合計（株）	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 （％）
マーチャント・バンカーズ株式会社	東京都千代田区内幸町一丁目1番1号	413,100	-	413,100	1.83
計	-	413,100	-	413,100	1.83

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次の通りであります。

(1) 新任役員

役名	職名	氏名	生年月日	略歴	任期	所有株式数 (千株)	就任 年月日
社外 取締役	-	アレン・チャン	(昭和39年2月 19日生)	昭和62年9月 Coopers & Lybrand入社 公認会計士(香港) 平成4年1月 Chan Chee Cheng & Co. パートナーズ(現任) 平成21年1月 当社顧問 平成21年6月 当社監査役 平成25年11月 当社社外取締役(現任)	(注)	-	平成25年 11月26日

(注) 取締役の任期は、就任の時から平成26年3月期に係る定時株主総会の終結の時までであります。

(2) 退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
取締役	-	トミー・ウォン	平成25年11月26日

(3) 役職の異動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
代表取締役	社長兼CEO	代表取締役	社長兼COO	古川 令治	平成25年12月17日

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、太陽A S G有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,006,081	1,491,731
受取手形及び売掛金	172,556	125,801
営業投資有価証券	405,475	405,103
販売用不動産	281,668	153,502
商品及び製品	3,692	3,829
仕掛品	13,897	70,281
原材料及び貯蔵品	19,716	27,117
その他	73,373	64,554
貸倒引当金	590	615
流動資産合計	2,975,870	2,341,308
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,030,360	1,115,247
土地	1,378,735	1,406,858
その他(純額)	131,299	108,621
減損損失累計額	214,552	195,602
有形固定資産合計	2,325,842	2,435,124
無形固定資産		
のれん	393,173	354,794
その他	1,471	1,279
無形固定資産合計	394,645	356,074
投資その他の資産		
投資有価証券	78,778	107,993
敷金及び保証金	160,566	155,445
その他	169,235	167,488
貸倒引当金	2,933	1,920
投資その他の資産合計	405,647	429,007
固定資産合計	3,126,135	3,220,205
資産合計	6,102,005	5,561,513

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	110,167	98,023
短期借入金	1,310,893	784,154
1年内償還予定の社債	-	600,000
1年内返済予定の長期借入金	80,492	60,288
未払費用	128,423	111,628
賞与引当金	5,094	2,750
その他	186,565	164,977
流動負債合計	1,821,636	1,821,821
固定負債		
社債	600,000	-
長期借入金	554,512	584,682
長期預り敷金保証金	123,280	120,182
退職給付引当金	33,100	33,100
役員退職慰労引当金	10,600	10,600
その他	59,527	57,433
固定負債合計	1,381,019	805,998
負債合計	3,202,655	2,627,820
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,765,732	2,765,732
資本剰余金	20,849	20,849
利益剰余金	234,303	234,791
自己株式	83,280	83,280
株主資本合計	2,937,605	2,938,093
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,064	26,936
為替換算調整勘定	325	27
その他の包括利益累計額合計	63,389	26,909
新株予約権	25,133	22,509
純資産合計	2,899,350	2,933,693
負債純資産合計	6,102,005	5,561,513

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	2,781,997	2,356,125
売上原価	1,153,920	1,180,363
売上総利益	1,628,077	1,175,762
販売費及び一般管理費	1,654,061	1,156,168
営業利益又は営業損失()	25,984	19,594
営業外収益		
受取利息	1,893	22,545
為替差益	7,078	41,710
その他	5,109	4,149
営業外収益合計	14,081	68,404
営業外費用		
支払利息	9,852	20,715
社債利息	10,900	10,900
持分法による投資損失	-	13,913
その他	212	-
営業外費用合計	20,965	45,529
経常利益又は経常損失()	32,868	42,469
特別利益		
事業譲渡益	101,302	-
新株予約権戻入益	6,605	2,908
関係会社株式売却益	-	3,254
関係会社清算益	-	12,203
保険差益	-	5,171
その他	18,826	158
特別利益合計	126,733	23,695
特別損失		
事業整理損	8,693	-
事業譲渡損	29,714	-
関係会社株式評価損	-	1,590
その他	1,057	455
特別損失合計	39,465	2,045
税金等調整前四半期純利益	54,399	64,119
法人税、住民税及び事業税	19,433	18,126
法人税等調整額	1,658	1,100
法人税等合計	17,775	19,227
少数株主損益調整前四半期純利益	36,624	44,891
四半期純利益	36,624	44,891

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	36,624	44,891
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,911	36,127
為替換算調整勘定	-	352
その他の包括利益合計	24,911	36,480
四半期包括利益	61,536	81,371
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	61,536	81,371

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間より、合同会社マーチャント・ソーラー2号は、同社が運営予定の太陽光発電所の着工に伴う資金調達及び設備投資を開始したことにより重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、株式会社アドメテックは、第三者割当増資の引き受けにより当社持分が増加したことなどから、新たに持分法適用の範囲に含めております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
減価償却費	37,520千円	37,822千円
のれんの償却額	32,889千円	38,378千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

(1) 配当金の支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成24年5月15日 取締役会	普通株式	44,404	利益剰余金	2.0	平成24年3月31日	平成24年6月28日

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

(1) 配当金の支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成25年5月14日 取締役会	普通株式	44,403	利益剰余金	2.0	平25年3月31日	平成25年6月26日

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計 (千円)	調整額 (注)1.	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2.
	マーチャ ント・バンキ ング事業	オペレーシ ョン事業	マニユファク チュアリング事 業			
売上高						
外部顧客への売上高	558,686	2,029,336	193,975	2,781,997	-	2,781,997
セグメント間の内部 売上高または振替高	-	-	-	-	-	-
計	558,686	2,029,336	193,975	2,781,997	-	2,781,997
セグメント利益又は損 失()	82,841	54,527	33,955	103,412	129,397	25,984

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額 129,397千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計 (千円)	調整額 (注)1.	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2.
	マーチャ ント・バンキ ング事業	オペレーシ ョン事業	マニユファク チュアリング事 業			
売上高						
外部顧客への売上高	636,994	1,446,196	272,934	2,356,125	-	2,356,125
セグメント間の内部 売上高または振替高	-	-	-	-	-	-
計	636,994	1,446,196	272,934	2,356,125	-	2,356,125
セグメント利益	99,261	19,486	12,767	131,515	111,921	19,594

(注)1. セグメント利益の調整額 111,921千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額

前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 1.65円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有する潜在株式がないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 2.02円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有する潜在株式がないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
四半期純利益(千円)	36,624	44,891
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	36,624	44,891
期中平均株式数(千株)	22,202	22,201
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月12日

マーチャント・バンカーズ株式会社

取締役会 御中

太陽 A S G 有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岡本 伸吾 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 柏木 忠 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているマーチャント・バンカーズ株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、マーチャント・バンカーズ株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。